

4年家庭学習の手引き

(双葉小)

○はじめに、宿題をしっかりとやりましょう。

<国語>

1 音読（声を出して読みましょう）

○今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。

（漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）

○練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。

読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。

○まだ勉強していないところも読んでいいです。

2 漢字の練習・意味調べ

○今までに勉強した漢字をノートに練習しましょう。

・「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習しましょう。

・漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。

例：「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で

○反対の意味の言葉「へんにつくり」などに気をつけて練習しましょう。

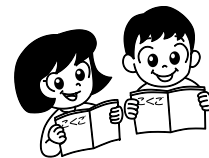
例：「きへん」のつく言葉をノートに書く。

「明るい」←→「暗い」のようにノートに書く。

だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。

○国語辞典をつかって、意味のわからない言葉を調べましょう。

調べたらノートに意味を書いておきましょう。



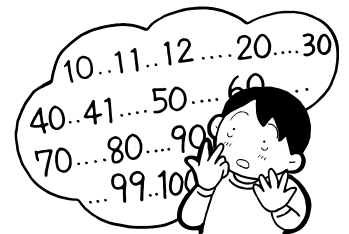
3 日記・作文

○その日の出来事や、考えたこと調べたことなどについて書きましょう。

○題名をつけて、習った漢字を使って書きましょう。

4 読書

○いろいろな種類の本を読みましょう。



5 視写

○教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。

○文やことばをかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。

<算数>

1 教科書やドリルの問題

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
(同じ問題を何度も練習するとまちがえないで早くできるようになります。)
- 問題をといたら丸付けをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。

2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返しふくしゅうしましょう。



<社会・理科>

1 教科書を読む

- その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。

2 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典・インターネットなどで調べる。

- ノートに書いたり、○○新聞などにまとめたりする。

<その他>

- 家にある問題集をするのもいいですね。
(答え合わせをして、まちがったところはきちんと直しましょう。)
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。

○きまった時間に、きまった場所で40分以上、勉強しましょう。
○毎日がんばりましょう。

《保護者の方へ》

お子さんに励ましの言葉をかけてあげるように、ご協力をお願いします。